













診療計画説明書 TUR-P(経尿道的前立腺切除術)

終了基準		・頭痛など麻酔の影響がない ・発熱がない ・濃い血尿が見られない ・排尿困難がない ・痛みのコントロールができています					
経過	入院日・手術前日	手術当日		術後1日目	術後2日目	術後3日目	術後4日目～術後5日目(退院まで)
日付	/	手術前	手術後	/	/	/	/
達成基準	・手術について理解できる ・手術を受ける身体的準備ができています	・体温や血圧、呼吸状態に異常がない ・濃い血尿がない ・尿の管に持続的に尿の流出がある ・鎮痛剤にて痛みの緩和ができる		・自尿がある ・生活の注意点について理解できる			
検査処置	・入院前に外来で検査します。 ・身長、体重の測定があります。 ・ストッキングのサイズを測ります。 ・必要時、除毛します。	・弾性ストッキングを履きます。 ・時計、指輪、入れ歯をはずして、手術用に準備された寝衣に着替えてください。 ・名前を確認するためのバンドを右手に巻きます。	・歩行と同時にストッキングが脱げます。 ・朝、6時ごろ採血があります。	・退院の際、名前を確認するためのバンドをはずします。			
薬剤	・必要であれば、寝る前に下剤、眠剤を希望できます。 ・内服中の薬があれば、医師、看護師にお知らせください。 	・医師より内服指示があれば、朝7時に内服していただきます。 ・点滴をするための針を腕に入れ、朝から点滴をします。 ・点滴をしながら手術室へいきます。 	・手術後、尿の管がテープで固定されています。通常、翌朝まで還流を続け、管の閉塞を防ぎます。 	・夕方点滴が終了したい、点滴の針を抜きます。  ・常用薬の服用を再開下さい。抗凝固剤は医師の指示にて再開します。 	□排尿ができ、痛みや出血がひどくなければ退院できます。 		
食事	・常食または治療食がです。	・午前手術は起床後より絶飲食です。 ・午後手術は朝食後より絶飲食です。	・帰室後、許可が出れば4時間後より水分のみ開始となります。それまで絶飲食です。 ・のどが渴けば、うがいはできます。	・朝から常食または治療食がです。 			
安静度	・病院内であれば、自由です。 	・病棟内のみ自由です。	・翌朝までベッド上安静のため、頭を上げたり、座ったり、歩行することはできません。 ・寝返りをうつことはできます。 ・尿の管がテープで固定されているので、足はできるかぎり曲げないでください。 <div style="border: 1px solid blue; border-radius: 50%; padding: 5px; display: inline-block; color: red; font-weight: bold;">おしっこがしたくなくても 力まないでください！</div>	・朝、還流が終了したら歩行することができます。 	何でもご相談ください 		
排泄			・尿の管がはいっています。 ・排便がしたい場合は、お呼びください。ベッド上安静のため、ベッド上にて差込便器を使用させていただきます。	・歩いてトイレに行くことができます。	・経過をみて尿の管を抜きます。		
清潔	・入浴、シャワーをしてください。爪をきってください。			・午前中に体を拭きに伺います。	・尿の管が抜ければ、シャワー・入浴ができます。		
指導説明	・入院生活・手術の説明 ・ご不明の点は主治医、看護師にお尋ねください。 ・手術承諾書を提出してください。 ・手術に必要な物品を確認します。	担当医の術前説明 外来でお渡しした同意書に記載 	・手術後の説明 担当医のスケジュールをお聞き下さい。 ・尿道に管が入っています。管の刺激で尿道が痛んだり、おしっこがしたくなったり、排便がしたい感じがします。 ・麻酔を使用しているため、頭痛や吐き気がすることがあります。 我慢できないときにはお知らせ下さい。痛み止め、吐き気止めを使用します。	・退院後の生活・外来受診について説明があります。 			

※病名等は現時点で考えられるものであり、今後検査等を進めていくにしたがって変わります。
※入院期間や治療内容は現時点で予想できるものであり、症状により変わります。